

第 38 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2008 年 11 月 1 日～3 日（和歌山大学）
セッション討議内容の記録

セッション名：歩行者空間	
日付：11月 1日（土）曜日、セッション時間：13:15～14:45	
司会者名（所属）：松本昌二（長岡技術科学大学）	
討 議 内 容	<p>セッション全体：</p> <p>(146) 塚口博司（立命館大学）は発表がキャンセルされた。そのため、発表時間に余裕を持たせる共に、討議の時間を多くとることができた。全体として、活発な質問があり、今後の研究について幾つかアドバイスがなされた。</p>
	<p>（発表番号）発表者名（所属）：(146) 塚口博司（立命館大学）</p> <p>発表キャンセル。</p>
	<p>（発表番号）発表者名（所属）：(147) 又野健太郎（大阪市立大学）</p> <p>「街路空間の質的評価のための歩行者流況指標」</p> <p>歩行者流動をミクロにみた指標として、過度とせん断力を提案しているが、その数学的な理解、イメージ的な理解が困難であったり、実証的に両者の関係がどうなっているか不明である。例えば、歩道上にベンチを置いたとき、指標がどう変化するのか、周りの指標がどう分布するのか、分析が望まれる。また、データ収集・分析の効率化、リアルタイム化などが望まれる。</p>
	<p>（発表番号）発表者名（所属）：(148) 相澤裕美（東京都）</p> <p>「産官学の連携による鉄道駅周辺の交通まちづくりの実現手法に関する研究」</p> <p>長年の取り組みを「産官学の連携」をテーマに発表することを意図しているけれども、複数の利害関係者の対立、連携が明確に論じられているとは言えない。質問に対して、複数の大型店が立地する地域にあって、少ない地元商業者の主体的な活動を期待していると回答があった。そのような利害関係者の連携のあり方、それと実現手法の関係が整理されることが望まれる。</p>